

問1 ブラジルの穀物生産量は日本の約35倍に達する一方で、1ヘクタールあたりの穀物生産量で比較すると、日本の約2.3トンに対しブラジルは約1トンにとどまっています。このように、ブラジルの1ヘクタールあたりの生産量が日本より少なくなっている背景として最も適切な理由はどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 広大な農地を活かし、単位面積あたりの手間や費用を抑えた粗放的な農業が行われているから | 2. 主食である米や小麦の栽培よりも、輸出用のコーヒーやサトウキビの栽培に特化しているから | 3. 熱帯雨林の保護が優先されており、最新の農業技術や化学肥料を導入することが禁止されているから | 4. 狭い土地を有効活用するため、肥料や農薬を大量に投入する集約的な農業が中心だから |
|---|---|--|--|

問2 ニュージーランドが現在進めている、先住民民族マオリに対する社会的な取り組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. マオリの言語や風習を公的に禁止し、イギリス式の文化に完全に同化させる政策をとっている。 | 2. マオリを特定の居住区に強制的に隔離し、伝統的な狩猟採集生活のみを許可している。 | 3. マオリ独自の文化や社会的地位を尊重し、国家規模で彼らの権利を保護する政策を進めている。 | 4. マオリを唯一の国民として定義し、ヨーロッパ系住民の市民権を制限している。 |
|--|--|--|---|

問3 カナダ、チリ、オーストラリア、フィリピン、韓国のすべてが加盟しており、環太平洋地域の経済的な協力を目的として活動している枠組みの略称として適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|----------|---------|
| 1. TPP | 2. EU | 3. ASEAN | 4. APEC |
|--------|-------|----------|---------|

問4 ブラジルの歴史と人々の生活について説明した次の文章のうち、正しい記述はどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. ブラジルは独立当初から多民族国家を目指し、アフリカやアジアから自発的な移民のみを受け入れて発展した。 | 2. 16世紀にスペインの植民地となったことで、先住民の文化とキリスト教が融合し、ヨーロッパ系の人々が人口の大部分を占めるようになった。 | 3. 広大なアマゾン川流域の開発を目的として、19世紀末にアメリカ合衆国から大規模な奴隷労働力が導入された。 | 4. かつてポルトガルが先住民を支配するとともに、農園の労働力としてアフリカから多くの人々を奴隷として連れてきた。 |
|---|--|--|---|

問5 世界の諸国の面積をまとめた統計において、オセアニアに位置し、約769万km²の領土面積を持つ国があります。この国は、国土が一つの一塊の大陸からなり、約701万km²という広大な排他的経済水域（EEZ）を持つことでも知られていますが、その国名を次の中から選びなさい。 (2017年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|------------|--------|--------|
| 1. ブラジル | 2. オーストラリア | 3. ロシア | 4. カナダ |
|---------|------------|--------|--------|

問6 オーストラリアの農業統計では、農業従事者1人あたりの農地面積が他の国々と比較して極めて広がっています。このような特色が生まれる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 山がちな地形で平地が少ないため、傾斜地を利用した小規模な家族経営が主流となっているから。 | 2. 広大な国土に対して労働力が少ないため、機械化を進め、1人あたりが管理する面積を広げる大規模経営を行っているから。 | 3. 熱帯雨林の保護を目的として、政府によって1人あたりの農地面積が厳格に制限されているから。 | 4. 限られた国土を有効活用するため、多くの労働力を投入して単位面積あたりの収穫量を高める集約的な農業を行っているから。 |
|---|---|---|--|

問7 ブラジルでは広大な国土を活かした農業が盛んですが、近年の環境問題やエネルギー政策とも深く関わる特徴が見られます。サトウキビの生産に関連して、ブラジルで行われている取り組みとして正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. サトウキビ畑をすべて大豆の栽培に切り替えることで、世界的な食料不足に対応する食料安全保障政策を推進している。 | 2. サトウキビの絞りかすを家畜の飼料として輸出することに特化し、大豆に代わる世界最大のタンパク質供給源となっている。 | 3. サトウキビを原料としたプラスチックの製造を禁止し、伝統的な木材加工業を輸出の中心に据える政策に転換した。 | 4. サトウキビを原料としてバイオエタノールを製造し、自動車の燃料として普及させることで、二酸化炭素の排出抑制を図っている。 |
|---|---|---|--|

問8 南アメリカ大陸の太平洋沿岸から大西洋岸にかけての地形断面について、西側の海岸線付近から内陸へ進むとすぐに標高3500mを超える険しい高山地帯が現れ、そこから東のブラジル方面へ進むにつれて標高が低くなっていくという特徴があります。この大陸西縁に連なる巨大な山脈の名称として正しいものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. ロッキー山脈 | 2. ヒマラヤ山脈 | 3. アルプス山脈 | 4. アンデス山脈 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

問9 1970年頃から現代にかけてのブラジルの主要な輸出品目の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の変化を踏まえて選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 1970年代から現代に至るまで、一貫してコーヒー豆が輸出額の5割以上を占め続けており、モノカルチャー経済の傾向がより強まっている。 | 2. かつては鉄鉱石や原油の輸出が中心であったが、近年はバイオ燃料の需要の高まりを受け、輸出品目をコーヒー豆のみに特化させている。 | 3. 1970年頃には輸出額の3割以上を占めていたコーヒー豆の割合が低下し、2019年の統計では大豆が輸出額の1位となっている。 | 4. 1970年頃から現在まで輸出品目の内訳にほとんど変化はなく、常に大豆が輸出額の1位であり、コーヒー豆は常に5位以下である。 |
|--|---|--|--|

問10 かつてのブラジルのように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に国の経済を大きく依存している経済体制を何と呼びますか。また、その説明として正しいものを選びなさい。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 輸入代替工業化といい、自国で必要な製品をすべて国内で製造し、輸出を抑制する経済体制のことである。 | 2. モノカルチャー経済といい、特定の製品を大量に生産するため、他国との貿易摩擦が起きにくいという特徴がある。 | 3. 混合農業といい、農作物の栽培と家畜の飼育を組み合わせることで、安定した収益を得る仕組みである。 | 4. モノカルチャー経済といい、天候や国際価格の変動によって国の経済が不安定になりやすいという特徴がある。 |
|---|---|--|---|

問11 ブラジルでは、さとうきびを原料としたバイオエタノールの普及が進んでいます。このバイオ燃料の活用と、現在のブラジルにおける環境保全への取り組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. とうもろこしを主原料とする北米の方式に完全に移行しており、さとうきび畑だった土地はすべて熱帯雨林へと復元されている。 | 2. 石炭による火力発電の不足分を補うために活用されており、原料確保のために熱帯雨林のさらなる開発を推奨している。 | 3. 二酸化炭素の排出量を増やす要因となるため使用が制限されており、代わりに安価な輸入石炭による発電への切り替えが進んでいる。 | 4. 再生可能エネルギーの供給割合を高めるために活用されており、増産にあたっては熱帯雨林を伐採しないような対策がとられている。 |
|---|---|---|---|